

研究課題名：	日本人における皮膚感染症（蜂窩織炎、丹毒）特徴に関する検討
所属(診療科等)：	公立昭和病院 感染症科
研究責任者(職名)：	小田 智三（部長）
研究期間：	2022年7月22日～2027年3月31日
研究目的と意義：	蜂窩織炎はしばしば再発すると報告されており、リンパ浮腫や末梢循環障害などが再発リスクになると報告され、日本でもそのように教育されてきた。日本における蜂窩織炎の患者像や再発リスク因子が海外のものと大きく異なるため、蜂窩織炎における血液培養の陽性率や起因菌、使用される抗菌薬に対する感受性なども日本特有の特徴がある可能性がある。現在施行されている経験的治療の記載は皮膚科の教科書毎に異なっている。本研究を施行することにより日本の皮膚科において普及している経験的治療がどの程度妥当なものなのか検証することができる。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2013年1月1日以降、血液培養が施行された蜂窩織炎、丹毒の患者さんを対象とする。 ●利用するカルテ情報 診断名、血液培養結果、使用薬物、抗菌薬の使用期間、血液検査結果等 ●研究方法 個人情報が含まれない形にデータを加工し、後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院、国際医療福祉大学成田病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：小田 智三（感染症科医師） 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>